

一般社団法人日本鉱物科学会
2019年度 定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2020年9月18日（金）9:00～11:00
2. 開催場所：東北大学 新青葉山キャンパス環境科学研究科本館 大会議室
(〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-20)

3. 出席役員：

会長(代表理事)：榎並正樹， 副会長(代表理事)：宮脇律郎

理事：

安東淳一， 阿部なつ江， 井上 徹， 大藤弘明， 大和田正明， 鍵 裕之， 川本竜彦，
河上哲生， 黒澤正紀， 辻森 樹， 土屋範芳， 富岡尚敬， 永井隆哉， 永嶋真理子，
長瀬敏郎， 伴 雅雄， 森下知晃， 塚本尚義， 吉朝 朗

監事：平島崇男

4. 議長：川本竜彦 会員

5. 議事録作成者 事務局

6. 報告事項

- ・2019年度（一般社団法人第 期）事業報告
学会誌等発行事業，集会及び行事の開催事業，研究の奨励及び業績の表彰，学会諸事業
- ・2020年度（一般社団法人第 期）事業計画書及び収支予算案などの件
- ・その他

7. 決議事項

- ・第1号議案 2019年度（一般社団法人第 期）事業報告，決算承認の件
- ・第2号議案 役員（理事、監事）選任の件

8. 授賞式

- 一、 日本鉱物科学会賞授与
- 一、 渡邊萬次郎賞授与
- 一、 日本鉱物科学会論文賞授与
- 一、 日本鉱物科学会研究奨励賞授与
- 一、 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与
- 一、 櫻井賞授与
- 一、 JMPS学生論文賞授与
- 一、 2019年年会(九州大学) 研究発表優秀賞授与
- 一、 2020年オンライン年会研究発表優秀賞授与

9. 議事の経過の要領及びその結果

- (1) 定刻に至り、一般社団法人日本鉱物科学会榎並正樹会長が、COVID-19禍による状況下での新しい運営方法によるWEB会議システム(ZOOM Meeting)を利用したハイブリット型オンライン総会の開会を宣言し、オンライン出席者の通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態)の確認とZOOM利用でのお願いなどを再確認した。

次に物故会員(島津光夫名誉会員, 湊 秀雄名誉会員, 石原舜三名誉会員, 大沼晃助名誉会員, 諏訪兼位永年会員, 安田俊一永年会員, 柴田 賢永年会員, 細野義純永年会員, 藤本雅太郎永年会員, 鈴木堯士永年会員, 松枝大治シニア会員, 笠間丈史一般会員)への黙祷がなされた。定款第15条により、議長の選任について諮ったところ、川本竜彦会員から立候補があり、満場一致をもって議長に選出された。

- (2) 川本竜彦議長により、定足数の確認および出席者数の確認が行われ、下記の定足数に足る社員の出席があったので、川本竜彦議長は議事に入った。

議決権のある社員数：845名

この議決権の総数： 845個(定足数85人)

出席社員数： 199名

(内訳)本人出席108人(会場 2人 + ZOOM出席 106人)

+ 書面91人[代行人行使(59人) + 書面議決権行使(32人)]

この議決権の総数： 199個

報告事項

1. 2019年度(一般社団法人第 期 2019年8月1日～2020年7月31日)事業報告

榎並正樹会長より2019年度一般社団法人日本鉱物科学会の活動について概要報告があった。特に、不測の事態やこれまで経験したことのない社会情勢が今なお続くこの一年の中で、まず昨年9月20日～22日に九州大学で開催された2019年年会最終日の台風対応について、九州大学LOC、行事委員会そして会員各位のご協力のお陰で事故もなく無事終了することができたことへの感謝が述べられた。次に、年明け以降続くCOVID-19禍に対応するため、学会諸行事を新しい運営方法で実施するために多くの方々が努力し、ここに年会および総会をオンライン開催することができたことへのお礼が述べられた。

次に、2019年度第4回定例理事会(2020年8月29日開催)において2019年度事業報告として承認された下記個別事業報告について、会長が各業務を一任している各担当者から総会資料に基づき報告説明がなされた。(総会資料参照)

1. 和文誌(岩石鉱物科学), 英文誌(Journal of Mineralogical and Petrological Sciences), その他の冊子版, 電子版による発行事業

- (1) 和文誌(岩石鉱物科学)編集報告(長瀬和文誌編集幹事・理事)
- (2) 英文誌(JMPS)編集報告(吉朝英文誌編集幹事・理事)

2. 総会, 講演会, 研究部会, その他学術に関する集会及び行事の開催事業

- (1) 行事報告・年会報告(磯部行事幹事)

- (2) 広報報告（大藤広報幹事・理事）
- (3) 渉外報告（森下渉外幹事・理事）
- (4) Elements報告（興野Elements幹事）

3．研究の奨励及び業績の表彰（河上庶務幹事・理事）

- (1) 2019年度日本鉱物科学会賞表彰
- (2) 渡邊萬次郎賞表彰
- (3) 2019年度日本鉱物科学会論文賞表彰
- (4) 2019年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰
- (5) 2019年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰
- (6) 2019年度櫻井賞表彰
- (7) 2019年度JMPS学生論文賞受賞論文表彰
- (8) 2019年年会研究発表優秀賞表彰

4．本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 庶務報告（河上庶務幹事・理事）
- (2) 将来企画委員会報告（宮脇委員長・副会長）
- (3) 特務幹事(会員増対策担当) 報告（佐藤特務幹事，代理河上庶務幹事・理事）
- (4) 地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）
- (5) 学術会議報告（大谷学術会議連携会員）
- (6) 教育普及委員会報告（林信太郎委員長）
- (7) 博物館委員会報告（坂野委員長）
- (8) 新鉱物・命名・分類委員会報告（門馬委員長）
- (9) 会長・副会長候補者推薦委員会報告(黒澤委員長・理事)
- (10) 選挙管理委員会報告（選挙管理委員，代表大内智博委員）
- (11) 研究部会継続申請と報告：研究部会「岩石 - 水相互作用」
(土屋代表，代理河上庶務幹事・理事)
- (12) International Symposium on Water-Rock Interaction (WRI) WRI-17 August 5-10, 2021報告
(土屋委員長，代理河上庶務幹事・理事)
- (13) 会員報告（阿部会員幹事・理事）
- (14) 細則等検討委員会報告（大和田細則等検討特務幹事・理事）
- (15) モンゴル資源地質学会と当学会の学術交流協定調印(MOU)報告（河上庶務幹事・理事）
- (16) 「岩石・鉱物の日」制定の件（宮脇副会長）

・ 2020年度（一般社団法人第 期）事業計画書及び収支予算案などの件

- 1．榎並会長により，2019年度第4回定例理事会（2020年8月29日開催）にて承認された，下記2020年度事業計画が紹介された。

編集事業：岩石鉱物科学、Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行

行事事業：2021年年会（広島大学）の開催と2020年度定時社員総会の開催，一般普及講演各賞の表彰事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

- 2．同じく第4回定例理事会で承認された2020年度収支予算書について，栗林会計幹事から配布資料に基づいて説明がなされ，紹介された。

. その他

その他の報告は無かった。

決議事項

. 第1号議案 2019年度（一般社団法人第 期）事業報告，決算承認の件

（説明：栗林会計幹事， 監査報告：平島監事）

1. 栗林会計幹事から，2019年度（一般社団法人第 期）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの財務諸表に対する注記，附属証明書について，配布資料に基づいて説明がなされた。
2. 平島監事から，今年度はコロナ禍の状況であったため，専門家の助言を受け事前に帳簿書類や計算書類を受領し，当日2020年8月29日にオンラインZOOMを利用して監査が実施されたことが紹介された。次に総会招集通知の監査報告書に記載の通り，会計，事業，理事の業務に関し，いずれも適正に執行されていることが確認された旨，監査報告書が読み上げられ報告された。
3. 議長により，これらについて諮ったところ，反対，保留はなく社員の賛成多数をもって承認可決された。

. 第2号議案 役員（理事、監事）選任の件（選挙管理委員会 大内智博委員）

選挙管理委員会大内智博委員により，次期役員（理事，監事）選挙の経緯と結果の説明がなされ，配布資料に基づき，下記理事候補者22名，理事次点候補者1名，監事候補者1名について，一人ずつ氏名を読み上げながら社員に諮ったところ，それぞれについて社員の賛成多数をもって承認可決された。

選任された以下の役員はいずれもその就任を承諾する旨の意思を表明した。

理事(22名)：宮脇律郎， 大和田正明， 安東淳一， 阿部なつ江， 井上 徹， 池田 剛，
磯部博志， 大藤弘明， 鍵 裕之， 片山郁夫， 川本竜彦， 河上哲生，
栗林貴弘 黒澤正紀， 辻森 樹， 土屋範芳， 永島真理子， 長瀬敏郎，
伴 雅雄 三宅 亮， 塚本尚義， 吉朝 朗

監事(1名)：小暮敏博

理事次点(1名)：永井隆哉

授賞式

各選考委員会委員長から選考結果が報告され，榎並会長から下記受賞者一人一人に賞状が読み上げられ，記念品が紹介された。また，各受賞者に，受賞の一言を述べていただいた。

一、2019年度日本鉱物科学会賞授与（永井隆哉委員長）

第22回受賞者：奥地 拓生 会員（京都大学複合原子力科学研究所）

業績題目：水素を含む地球惑星内部物質の構造と拡散の研究

第23回受賞者：小松 一生 会員（東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設）

業績題目：高圧下中性子回折法の手法開発ならびに水素を含む鉱物の高圧相転移の解析

一、渡邊萬次郎賞授与（小暮敏博委員長）

第36回受賞者：島崎 英彦 永年会員

一、2019年度日本鉱物科学会論文賞授与（井上 徹委員長）

第22回受賞論文

Title: Pressure-induced crystallization of biogenic hydrous amorphous silica. Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, 112, 324-335,

受賞者：興野 純 会員（筑波大学生命環境系地球進化科学専攻）

田村知也 会員（筑波大学生命環境科学研究科地球進化科学専攻）

一、2019年度日本鉱物科学会研究奨励賞授与（永嶋真理子委員長）

第27回受賞者：吉田 健太 会員（海洋研究開発機構海域地震火山部門）

研究対象：沈み込み帯で生じる脱水流体やそれに関連する物質収支の研究

第28回受賞者：杉浦 悠紀 会員（産業技術総合研究所健康医工学研究部門）

研究対象：リン酸による炭酸カルシウム多形制御メカニズム解明と生体材料への応用

一、2019年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与（大藤弘明委員長）

第12回受賞者：入船 徹男 会員（愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター）

題目：ナノ多結晶ダイヤモンドの合成とその多様な科学研究・新材料創製への応用

一、2019年度櫻井賞（松原聰委員長，代理宮脇委員）

第45回受賞者：栗林 貴弘 会員（東北大学理学部）

対象鉱物：日立鉱

一、2019年度JMPS 学生論文賞授与（永井委員長）

第9回受賞論文：Metamorphic pressure-temperature conditions of the Lützow-Holm Complex of East Antarctica deduced from Zr-in-rutile geothermometer and Al₂SiO₅ minerals enclosed in garnet. JMPS, 114-6, 267-279, 2019.

受賞者：鈴木 康太 会員（投稿時：京大・修2）

第10回受賞論文：Formation of triple-layer coronas between corundum and hornblende from the Lützow-Holm Complex at Akarui Point, East Antarctica. 113- 2, 68-81, 2018.

受賞者：森 祐紀 会員（投稿時：九大・博1）

引き続き、榎並会長の提案により、昨年2019年年会研究発表優秀賞授賞式が台風のため実施できなかったため、ここに授賞式を行うこととなった。

一、2019年年会(九州大学) 研究発表優秀賞授与 (*所属は発表時2019年9月現在)

第50回受賞者：藤田 和果奈 学生会員(東北大学大学院理学研究科博3)

S2-02：多結晶岩石における組織形成が浸透率に与える効果

第51回受賞者：佐藤 侑人 学生会員(東京大学大学院理学系研究科博3)

S1-01：一ノ目湯産スピネルカンラン岩捕獲岩の圧力推定による島弧域リソスフェア-アセノスフェア境界領域の復元

第52回受賞者：高橋 玄 学生会員(東京大学大学院理学系研究科修2)

R4P-01：地下深部花崗岩内生物圏の鉱物学的特徴

第53回受賞者：赤松 祐哉 学生会員(広島大学大学院理学研究科修2)

R7P-05：クラックの発生頻度の違いによる海洋モホ面での地震波不連続性

最後に、昨日9月17日に終了した2020年オンライン年会研究発表優秀賞の審査結果発表と授賞式が行われた。

一、2020年オンライン年会研究発表優秀賞授与 (新名良介委員長)

第54回受賞者：富岡 優貴 学生会員(名古屋大学大学院環境学研究科修1)

R8-08：石英-藍晶石系を用いたラマン地質圧力計：四国三波川帯・石英エクロジヤイトの例

第55回受賞者：森 悠一郎 学生会員(東京大学大学院理学系研究科修1)

R3-01：差応力場における Fe_2SiO_4 のオリビーンスピネル相転移機構と変形の局所化

第56回受賞者：吉田 一貴 学生会員(東北大学大学院環境科学研究科修2)

S2-03：オマーンオフィオライト下部地殻 マントル境界の蛇紋岩化プロセスに伴うき裂形成：数値シミュレーションと画像解析による考察

第57回受賞者：松野 哲士 学生会員(東北大学大学院環境科学研究科修1)

S2-04：機械学習による原岩推定を用いた変成岩の物質移動量解析

閉 会

以上をもってすべての議事を終了したので、議長は11時00分に閉会を宣した。

上記の議事の要領及び結果を明確にするため、この議事録を作成し、定款第18条第2項に規定されている総会に出席した正会員より選出された議事録署名人(1名以上)が次に記名、押印する。

令和2年9月18日

一般社団法人日本鉱物科学会 2019年度定時社員総会

理事 河上 哲生 印
(配布時押印省略)